

薬事講演会

(1) 日時 平成31年3月5日(火) 午後2時00分より

(2) 場所 パレブラン高志会館2階 嘉月の間
富山市千歳町1-3-1 (TEL 076-441-2255)

(3) 演題、講師及び講演内容

◇午後2時05分～午後2時50分(45分)

「プロテオミクス・リン酸プロテオミクスを活用した バイオマーカー・創薬標的探索」

講師 国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所
創薬標的プロテオミクスプロジェクト/
プロテオームリサーチプロジェクト

朝長 毅 先生

現在、世界的に新薬開発が停滞していると言われており、特に日本発の新薬は欧米に比して少なく、日本の創薬研究の現状は満足のものとはなっていません。その原因として、創薬標的の枯渇があげられています。本講演では、現在我々が取り組んでいる、最先端プロテオミクス技術・リン酸化プロテオミクス技術を用いたバイオマーカーおよび新規創薬標的の探索について紹介したいと思います。

◇午後2時50分～午後3時35分(45分)

「ヒトリキッドバイオプシーから臨む診断薬/ 治療抗体シーズの情報集積技術」

講師 国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所
感染症制御プロジェクト
ワクチン・アジュバント研究センター/免疫バイオリジクスプロジェクト
プロジェクトリーダー

安居 輝人 先生

抗体医薬品開発は、製剤における免疫原性の極小化が必須であり、時間的、経済的負担がかかります。本講演では、ヒト末梢血等のリキッドバイオプシーリソースから効果的に抗体シーズを探索する技術とその具体例を紹介します。

◇午後3時45分～午後5時15分(90分)

「微量不純物に関する規制と対応の実際」

講師 中外製薬株式会社 富士御殿場研究所

三島 雅之 先生

近年強化されつつある微量不純物の規制と、その対応に不可欠な安全性に基づく曝露許容値の算出について、ICH Q3、M7、E&L、交差汚染、バイオ医薬品特有の不純物、労働安全など、幅広い視点から論じます。

(4) 懇親会 午後5時30分より パレブラン高志会館2階 瑞鳥の間
懇親会費 一名につき5,000円(当日、講演会場受付にて)

問い合わせ先: 富山県薬事研究会事務局(薬事総合研究開発センター内) 担当: 永井、竹林
〒939-0363 富山県射水市中太閤山17-1 TEL 0766-56-6026/FAX 0766-56-7285

【薬事講演会 参加申込用紙】

平成31年3月5日(火)開催の薬事講演会および懇親会に参加される方のお名前を以下にご記入の上、FAXにてお申し込みください。

送信先

薬事研究会事務局 宛

FAX: 0766-56-7285

送信元

会社名 _____

【講演会 参加者氏名】

氏名	氏名

【懇親会 参加者氏名】

氏名	氏名

※ 準備の都合がありますので2月26日(火)までにご返信下さい。